

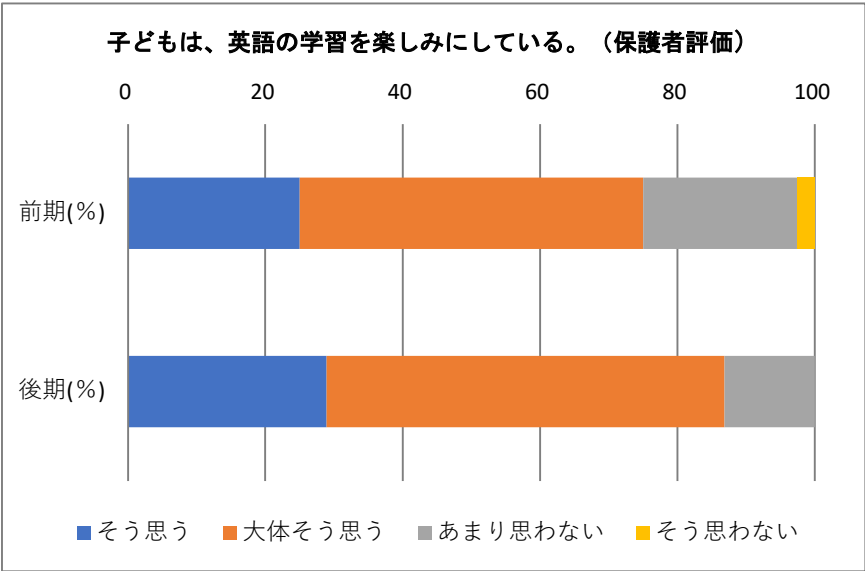
令和 7 年度 英語評価（保護者・児童）の結果

◇評価は、「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4段階からの選択で実施しました。
◇評価点は、「そう思う」100点、「大体そう思う」75点、「あまりそう思わない」25点、「そう思わない」0点として得点化、50点が中間点です。
◇肯定点は、「そう思う」、「大体そう思う」の肯定的な選択をいただいた割合を示しています。

R7年度	前期評価点	68.1	前期肯定点	75.0
	後期評価点	70.8	後期肯定点	87.0

子どもは、英語の学習を楽しみにしている。（保護者評価）

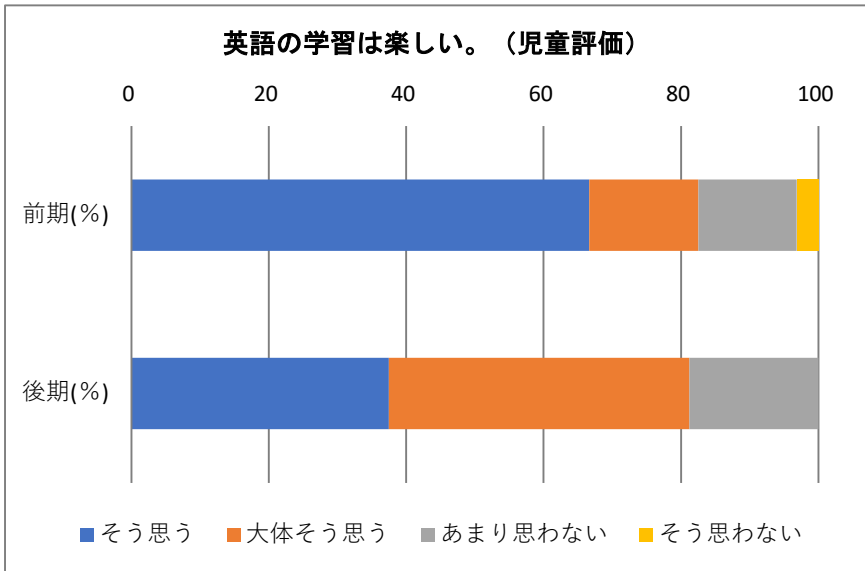
	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	合計
前期(人)	10	20	9	1	40
前期(%)	25	50	23	3	100
後期(人)	11	22	5	0	38
後期(%)	29	58	13	0	100



R7年度	前期評価点	82.1	前期肯定点	83.0
	後期評価点	75.0	後期肯定点	82.0

英語の学習は楽しい。（児童評価）

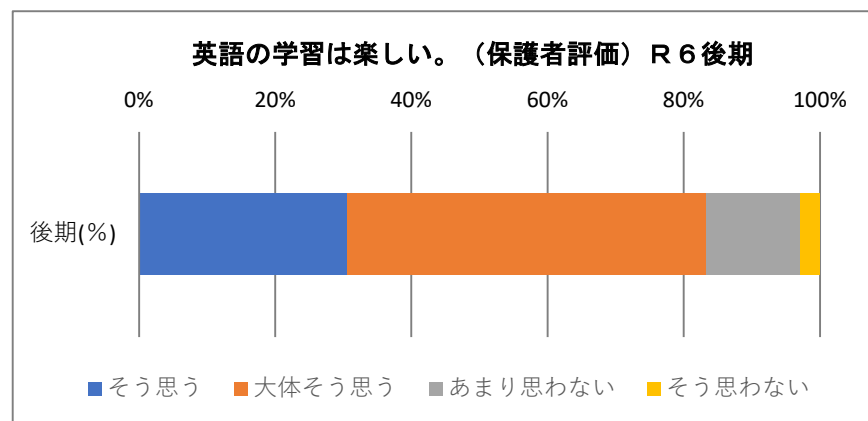
	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	合計
前期(人)	42	10	9	2	63
前期(%)	67	16	14	3	100
後期(人)	24	28	12	0	64
後期(%)	38	44	19	0	100



R6後期 評価点 73.6 肯定点 79.0

子どもは、英語の授業を楽しみにしている。（保護者評価）

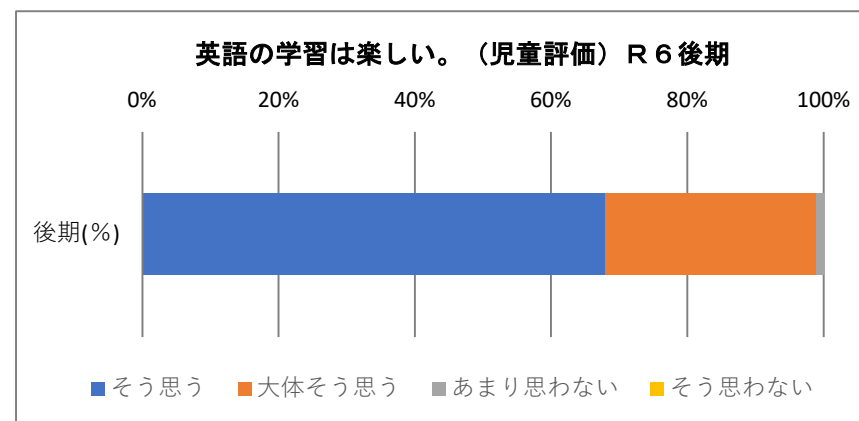
	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	合計
後期(人)	11	19	5	1	36
後期(%)	29	50	13	3	100



R6後期 評価点 91.2 肯定点 99.0

英語の学習は楽しい。（児童評価）

	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	合計
後期(人)	46	21	1	0	68
後期(%)	68	31	1	0	100



考察

- ・保護者評価は、令和6年度後期から前期のポイントが5ポイント程度下がったが、後期にやや回復している。前期評価後の9月の学習学習参観で英語のモジュール学習を公開したことで、学習の実態を把握していただいた結果であると推測する。児童評価が如実に保護者に影響があることは明らかで、指導の工夫に加え、学習成果の発信等の取組に力を入れていきたい。
- ・児童評価は昨年に比べて下昇傾向であり、英語指導者の交代による学習（指導）形態の変化が、児童にとって戸惑いがあるように考えられる。英語をより楽しく親しむことができるよう、指導者側の課題と捉えて工夫と検討を行っていく。
- ・今年度、学校運営協議会の委員の皆様へ英語指導を体験いただく場を1学期終了後の会議の際に設定した。概ね高評価をいただいていたのだが、児童評価と合わせて考えると児童向けの指導に工夫の余地があると推察し、次年度に向け改善を進めていく。